

2015年1月26日

RSSC ウィメンズクラブ

活動月報

活動日時	2015年1月26日 10時00分～14時00分
場 所	渋谷シネパレス & Bunkamura 内ドゥマゴ
出 席 者	8名 記（齋藤）
活動内容	<p>1. 映画鑑賞『何を怖れる』～フェミニズムを生きた女たち～ 松井久子監督</p> <p>70年代初頭にウーマンリブが始まった頃、彼女たちはまだ20代、30代だった。おのれの生きにくさにもがき、社会に向かい「NO」と叫んでいた。その後約半世紀、女たちは自己と社会を肯定すべく強い意志を持って生きてきた。男社会から疎まれても、同性たちの偏見や誤解の目に晒されても、すすんで自らを「フェミニスト」と名のり、目の前の壁と闘いながら、つねに女たちと共感し、女たちとつながって老年期を迎えた今もなお、みずみずしく女であることを愛している。そんな彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたか？次の時代に何を伝えようとしているのか…彼女たちの「リブ」は、自分を生きること。</p> <p>出演：池田恵理子・井上輝子・上野千鶴子・加納実紀代・駒沢喜美 桜井陽子・高里鈴代・高橋ますみ・滝石典子・田中喜美子 田中美津・中西豊子・樋口恵子・米津知子</p> <p>2. 鑑賞後、ランチ&トーク</p> <ul style="list-style-type: none">・彼女たちの生き方について 個性ある生き様、男社会の時代に「リブ」を貫いた強さ・凄さ・今起こっている社会の出来事・現代の子育て世代への想い・これからの自身の生き方、家族や夫婦の関わり方など <p>3. 3月以降の研究会の予定</p> <ul style="list-style-type: none">・3月9日（月）民生委員としての体験（深野・宮崎・重松）・4月13日（月）樋口一葉ゆかりの地を歩く（北澤）・宿泊研究会の検討 <p>以上</p>

何を怖れる
フェミニズムを生きた女たち

女たちの証言でつづる
ドキュメンタリー映画

出演者 ● 池田由理子、井上博子、上野千鶴子、加藤和代、朝吹真央、柳井真子、高畑幹代、高橋まゆみ、滝沢真子、中西真子、田中真知子、田中真知子、橋口恵子、水津瑞子

「コキエ」「折り梅」「レオニー」の
松井久子監督作品

何を怖れる

闘った、生きた、老いた...
彼女たちの「リブ」は、自分を生きること。

フェミニズムを生きた女たち
第3世代以降の「ウーマン」が築き上げた道。彼女たちはまだ30代、40代だった。その後の生きにくさにもがき、社会に叫びたい、NOと叫びたい。その強欲な愛欲。友達は自らと別れを告げず、よくいよを求めても来てはく。男と愛からうと求めている。同性たちの愛欲や愛欲の目に晒されても。すずんで平気な「アムネシ」と名の、100歳の心も揺るぎがら。ついに女たちと共闘し、女たちがつなぐ。老年闘争をたづねる。あきらみずしく女であることを認めている。そんな彼女たちは、時代に何を望もうとしてきたか? 次の世代「何を怖れる」として来るか? 「レオニー」第2巻、レオニー1の監督久子監督がフェミニストたちの証言でつづる初のドキュメンタリー映画。



出演 ● 池田由理子、井上博子、上野千鶴子、加藤和代、朝吹真央、柳井真子、高畑幹代、高橋まゆみ、滝沢真子、中西真子、田中真知子、田中真知子、橋口恵子、水津瑞子

渋谷シネパレス 2015年1月17日(土)～2月6日(金)
(JR 八重洲口・渋谷口フロント前・三葉ビル7F) 03-3461-3534

横浜シネマリン 2015年2月7日(土)～2月20日(金)
(地下鉄伊勢原本長町駅徒歩2分、
相神信念会館11階ビルB1) 045-261-1007

<http://feminism-documentary.com>